



さつま町消防本部 消防長
田上 泉

■さつま町消防本部 田上消防長にAEDについて話を聞きました

Q1 AEDを使うには、免許が必要ですか。
A1 免許は必要ありません。救急現場に居合わせた人によるAEDの使用は認められています。

Q2 AEDを使った心肺蘇生法は医療行為なのですか。
A2 AEDによる電気ショックは医療行為ですが、救命のためのショックは認められています。

Q3 AEDはどういった時に活用すればよいのですか。
A3 意識を失って呼吸をしていない人がいたら、まず救急車を呼んで、近くのAEDを手配してください。その後、心肺蘇生法を開始して、AEDが届いたらすぐに使ってください。



宮之城総合体育館に設置してあるAED

Q4 AED使用の注意点を教えてください。
A4 AEDの音声メッセージに従って操作することが大切です。電流を流すために感電する危険があり、傷病者から離れるよう指示があった時は、患者に触れることのないように気をつけてください。

Q5 AEDを使用して、救命に取り組んだ後、患者の身体に影響が及んだら、AED使用者の責任は問われますか。
A5 AEDを使用した方の責任は、問われることはありません。

■町内のAED設置状況

(平成20年9月末現在)

設置場所名称	設置台数
さつま町役場本庁	1台
薩摩総合支所	1台
鶴田総合支所	1台
さつま町消防本部	1台
宮之城総合体育館	1台
木原医院	1台
小緑内科	1台
薩摩中央高等学校	1台
薩摩郡医師会病院	1台
上園建設	1台
インターナショナルゴルフリゾート京セラ	1台
宮之城屋内温泉プール	1台
日本特殊陶業(株)	2台
北薩広域公園	1台
鶴田ダム管理所	1台
特別養護老人ホーム マモリエ	1台
介護老人保健施設 クオリエ	1台
吉祥園保育所	1台
てらだ内科クリニック	1台

Q6 AEDの救命率はどれくらいありますか。
A6 総務省消防庁の発表によると、AEDで一般市民や救急隊により早期に電気ショックが行われた場合、何も施されなかった場合に比べ5倍近くの人が助かったという結果がでています。

Q7 全国の救命事例を教えてください。
A7 県内の例としては指宿菜の花マラソンでの救命例があります。また、平成17年に開催された愛地球博では4人の方が心肺停止になり、そのうち3人の方がAEDによって助かっています。

Q8 町内には、AEDが設置してありますか。
A8 現在19ヶ所、20台設置してあります。また、今年度中に町内のすべての小学校と中学校にAEDが配置される予定です。

Q9 講習を受けた場合は、どのようにすればよいですか。
A9 講習ではいつでも何人からでも講習を受け付けています。気軽に消防署・救急係にご連絡ください。 ☎0119

AEDの使い方

現場に居合わせたあなたは、救命リレーの第一走者。
AEDを使って、大切な命を救急隊へ引き継ごう。



① 耳元で「大丈夫ですか」または「もしもし」と大声で呼びかけながら、肩を軽く叩き反応があるかないかをみます。



② 反応がなければ、大きな声で助けを求め、「あなたは119番通報をしてください」「あなたはAEDを持ってきてください」と要請します。



③ 片手を額に当て、もう一方の手をあご先に当てて、頭を後ろにのけぞらせ、あご先を上げ、普段どおりの呼吸をしているか確認します。



④ 正常な呼吸がなければ、あご先を上げたまま鼻をつまみ、口を覆い、胸が持ち上がるくらいの息を2回吹き込みます。



⑤ 人工呼吸が終わったら、すぐに胸の真ん中を「強く・早く・絶え間なく」、1分間に100回のテンポで30回連続して圧迫します。後は30回の圧迫と2回の人工呼吸を救急車が来るまで続けます。



⑥ 心肺蘇生中にAEDが届いたらすぐに使います。まず電源ボタンを押し、その後は、AEDの音声メッセージに従って操作します。※ふたをあげれば自動で電源が入る機種もあります。



⑦ 胸をはだけて、電極パッドをしっかりと貼り付け、コネクタを差し込みます。自動的に心臓のリズムを解析しますので、音声メッセージに従って傷病者から離れます。



⑧ 「ショックが必要」などのメッセージが流れたら、傷病者に誰も触れていないことを確かめてショックボタンを押します。ショックが終わったら、すぐに胸骨圧迫と人工呼吸を開始します。